

令和6年度
学校評価

令和7年3月14日
美馬市立美馬小学校

評価分野と主な観点	評価	評価結果の概要及び次年度に向けての改善策
<p>1 学校経営及び学校運営に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営方針の明確化とその実践 ・組織マネジメント ・教職員の資質能力の向上と人材育成 	3	<p>本年度は「学ぶ楽しさあふれる学校」をキーワードに、主体的に学びに取り組む児童の育成に重点をおいて取り組んだ。教職員がそれぞれの立場から、児童の主体性を伸ばすための具体的な実践を積み重ねることができたと考える。</p> <p>組織の活性化に関する教職員の評価は前年度に比べやや低下しており（項目19、20）、教職員が組織として課題を共有し、協力して解決していこうとする環境を構築する必要がある。</p> <p>研修主任を中心に、プロジェクトチームによるテーマ別研修、フレッシュ研修Ⅱ、ミドルリーダー研修該当者への支援、相互授業観察を行う「みまshowウィーク」の実施など、研修計画に基づいて研修が進められ、一定の成果を上げることができた。</p>
<p>2 教育目標及び教育計画に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の具現化 ・カリキュラム・マネジメント ・学校行事 	3	<p>重点目標の具現化について、職員の評価がやや低下しており、育てたい児童の姿を職員で共有し、数値による評価指標を設定して、全職員で取り組む体制を整備する必要がある。</p> <p>重点目標の一つである郷土愛の育成については、行事や各教科、領域の学習を相互に関連付けながら、地域学習を実践することができた。学校行事等においても、児童会や学級活動と関連を図りながら、児童主体の活動目標を掲げて取り組むことで、児童が生き生きと活動に取り組む姿が見られた。</p>
<p>3 主な教育活動に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善 ・生徒指導 ・道徳教育及び人権教育 ・学力向上 	3	<p>課題であったICTを活用した授業改善については、リアルタイム学習支援アプリ（MetaMoji ClassRoom）の活用が広がり、進展が見られた。</p> <p>生徒指導面では、月1回の生活アンケートの実施、保護者との連携を密にした指導を行い、いじめの防止と早期対応を図った。</p> <p>「あいさつ運動」や「いいところ見つけ」、「日本一プロジェクト」と称したポジティブな行動支援の手法も取り入れた取組を継続してきた。今後も自他を大切に児童の育成に努め、人権感覚が育つ取組を推進する必要がある。</p> <p>学力調査等の結果は、県や全国平均を上回った教科もあったが、基礎的な学力の定着には課題がみられる。学力向上実行プランに基づき、課題解決に向けて次年度も全職員で取り組んでいく。読書活動推進については、図書館などの読書環境の整備、読み聞かせの実施に加え、火曜家庭読書の日の導入等により、児童アンケート（項目9）、保護者アンケート（学校の取組：項目5）において、意識の高まりや肯定的な評価の向上が見られた。</p>
<p>4 家庭及び地域との連携に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・PTA活動の活性化 ・校種間連携 ・地域の教育資源の活用 	3	<p>一斉メールを利用した学校便り、学年便り等の配信やHPで情報発信については、保護者アンケートでも概ね高い評価を得た（学校の取組：項目10）。</p> <p>学校地域住民や保護者に学習支援を依頼する取組は、児童の様子を見ることができるとして保護者から肯定的な評価を得ることができた（自由記述による意見）。</p> <p>PTA活動については、一部否定的な意見も見られた（自己チェック：項目12）。負担感を軽減しながら、児童の成長のために保護者同士、あるいは保護者と教職員が協働する場として機能するよう組織のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>認定こども園、中学校との連携については、体験入学、読み聞かせなど、位置づけ交流を深めることができた。防災における連携を一層図る必要がある。</p> <p>地域への愛着を深める活動として、地域を巡る「ふるさとハイキング」は、本年度新しいコースを検討することで、教職員自身も地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会となった。</p>
<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境 ・特別支援教育 ・GIGAスクール ・指定研究等の取組 ・働き方改革 	3	<p>特別支援教育については、特別支援教育コーディネーターを中心に保護者や関係機関とも密に連携し、市から配置された支援員5名を含めきめ細かい指導に務めてきた。</p> <p>学校力向上コラボレーション事業の協力校として、拠点校である中学校との連携を深めながら取り組み、育成を図るべき学力の捉え方、家庭学習の取り組み方など、指導の方向性等を共通理解することができた。</p> <p>月平均一人あたりの時間外在校時間は、昨年度より1.8時間増加し、超過勤務を抑えることができなかった。働き方改革が十分でないと考えている教職員も増加しており（項目23）、ボトムアップ型で職員全員が主体的に問題解決にあたる体制を整えることが課題である。</p>

*評価基準 4…十分達成できた 3…概ね達成できた 2…あまり達成されていない 1…全く達成されていない

- 1 日 時 令和7年2月21日（金） 午後1時20分～
※学校運営協議会において実施
- 2 場 所 美馬中学校相談室
- 3 参加者 美馬中学校区学校運営協議会委員8名 事務局2名
- 4 学校運営に対する意見等

○参観した授業の中で、ALTと担任と一緒に授業している学級と、担任だけで行っている学級があった。英語の授業についてはどのように行っているのか。小学校で英語を学習するようになり、担任の先生の負担が増えたのではないか。
(小学校での外国語学習の状況を説明)

○中学校では普段から、休み時間にはどちらかの学級の先生が必ず教室にいる。またチャイムと同時に授業を始め、チャイムと同時に授業を終わっている。素晴らしい実践と感心している。

○保護者や地域住民がボランティアとして見守りや支援を行っているが、その方たちのコンプライアンスについて、研修等行っているのか。

○最近ではネグレクトなどの虐待、DVなど、様々な問題が見られる。保護者に働きかけていく必要がある。

活動の前に、個人情報の保護（撮影した画像や動画はSNS等にアップロードしないこと、活動中に知り得た個人情報を外部にもらさないことなど）について、お願いしている。

○いじめ問題への対応について、いじめが起きた場合、市教委は把握しているのか。把握していない事例もあると聞いたが、学校はどのような基準で市や県に報告しているのか。

学校は児童生徒自身がいじめと感じたらいじめと捉え、対応している。生活アンケートを毎月実施するなどして、いじめの把握に努めている。いじめが発生した場合には、児童生徒の命を守ることを大前提として、解決にあたっている。

把握したいじめについては、市教委に全て報告している。報告の時期については、解決に向けての進捗状況に応じて違いがある。より良い解決を図るために、市教委や関係機関と連携を深めていく。

○先生方は余裕がなく働いている。働き方改革を一層推進し、生まれた余裕を児童生徒に向けていくようにしていかなければならない。

○登下校時の児童生徒の安全、保護者の送迎について

- ・福祉センター跡地について、どのような状況か。
- ・車での送迎時学校敷地内への乗り入れ禁止にした経緯を知らない保護者も多くなっているのではないか。乗り入れ禁止の標示を立てるなど、児童生徒の安全のために具体的は対策をとる必要がある。

福祉センター跡地は市が管理している土地であるため、行事で利用する場合は利用許可申請を行っている。保護者にはこのことをご理解いただき、福祉センターで児童を乗降させる場合には事故のないよう注意をするよう呼びかけているところである。

敷地内乗り入れ禁止については文書でお願いしてきた。看板などの設置も検討したい。

- ・資料

保護者アンケート

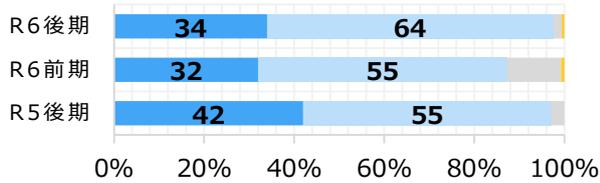
児童アンケート

教職員アンケート

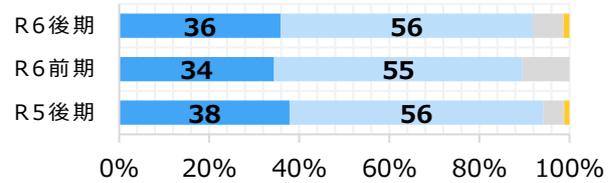
保護者アンケートに寄せられた意見
及びその回答

学校の取り組みについて

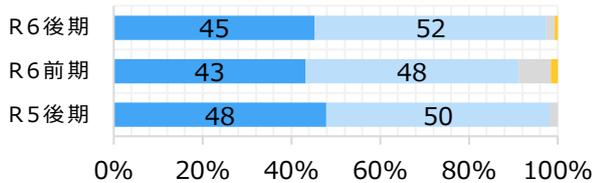
1 学校は、教育目標や教育方針などをわかりやすく知らせている。



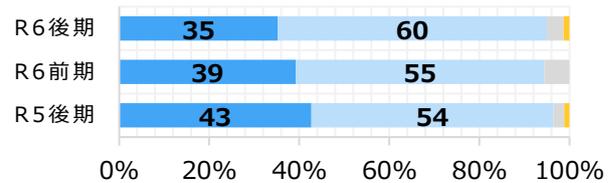
6 学校は、生活指導（あいさつ、正しい言葉づかい、早寝・早起き・朝ご飯、携帯、スマホ、ゲームなどの適切な使い方など）に取り組んでいる。



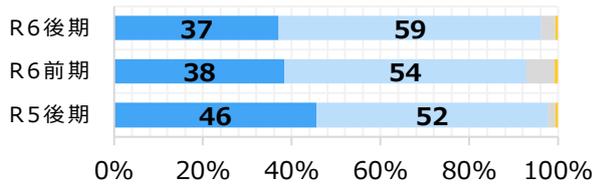
2 学校は、授業や教育活動などを進んで保護者や地域に公開しようと努めている。



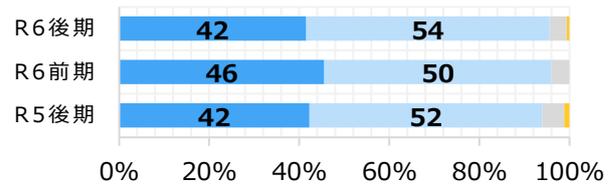
7 学校は、自分も人も大切にし、友達となかよく助け合って生活しようとする「なかまづくり」に取り組んでいる。



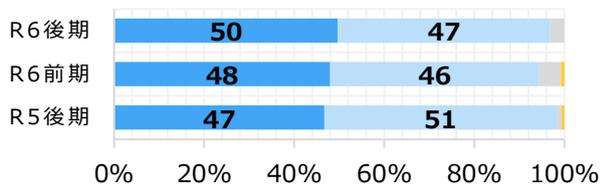
3 学校は、基礎学力を身につけようと努めるとともに、家庭での学習習慣（宿題をきちんとやりきるなど）を定着させるために取り組んでいる。



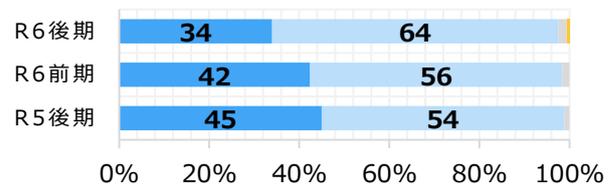
8 学校は、安全（交通安全、事故防止、不審者対策、性暴力防止対策など）に対する意識を高める取組を計画的にしている。



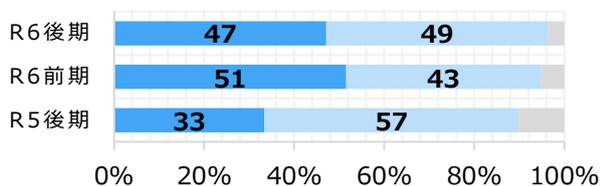
4 学校は、豊かな体験活動（地域の人々や自然とのふれあい）を通して、ふるさとを愛し誇りをもたせる教育活動に取り組んでいる。



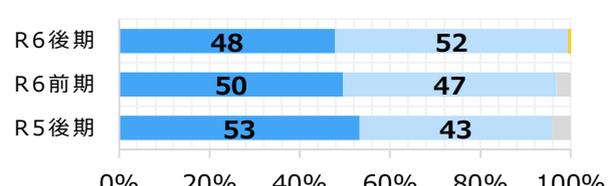
9 学校は、花づくりや清掃活動などを通して、学校を美しくしようと努力している。



5 学校は、進んで読書活動に取り組めるように環境を整備したり、読書指導に取り組んだりしている。

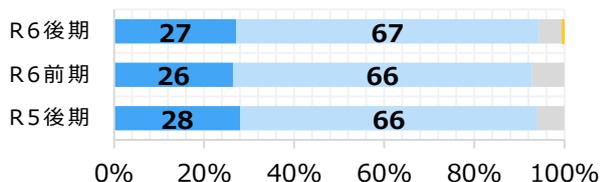


10 学校は、学年だよりや個人懇談などを通じて、子供たちの学習や生活の様子などを知らせている。

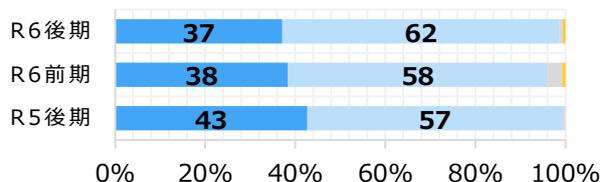


保護者自己チェック項目

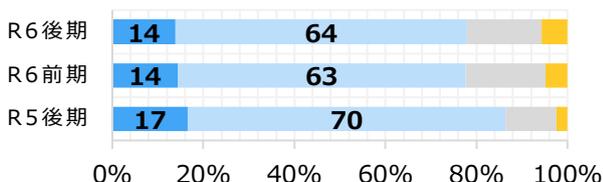
11 学校からのお知らせなどは、ていねいに読んでいる。



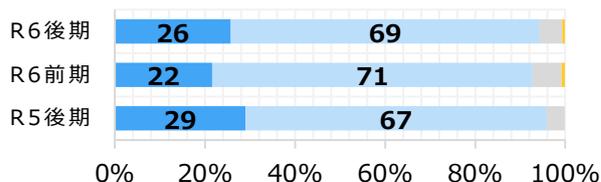
14 学校や友達の話を聞くなどお子様とのコミュニケーションを積極的に取り、学習状況や生活状況を把握するように努めている。



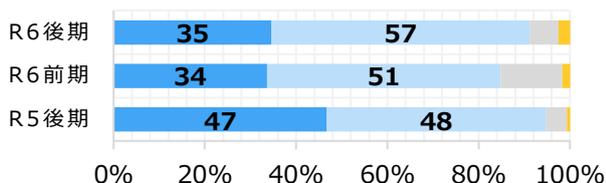
12 学校行事、PTA活動には積極的に参加し、協力しようと努めている。



15 家庭でのしつけ（挨拶、正しい言葉づかい、早寝・早起き・朝ご飯、携帯、スマホ、ゲームなどの適切な使い方など）に積極的に取り組んでいる。



13 心配なことがあるときは、担任に相談している。

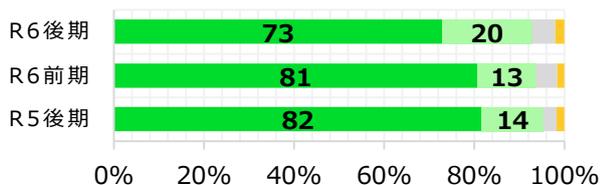


令和6年度 美馬小児童アンケート（後期）

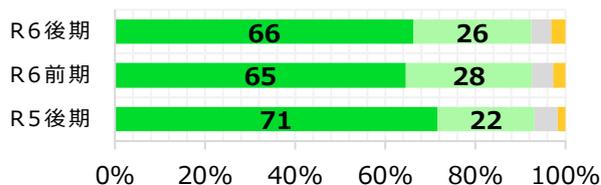
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

調査期間:令和7年2月3日～2月10日 調査対象:全児童 265名 回答数:250 (回答率 94.3%)

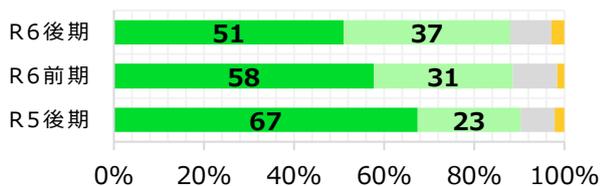
1 学校へ来るのが楽しい。



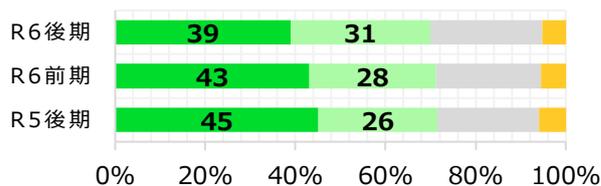
6 授業はわかりやすく、楽しい。



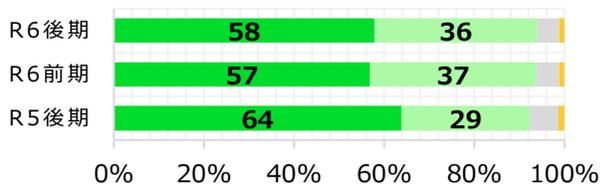
2 先生や友達に元気よくあいさつができています。



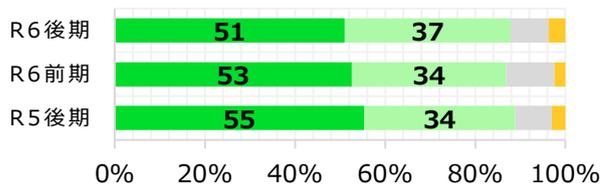
7 自分の考えを進んで発表している。



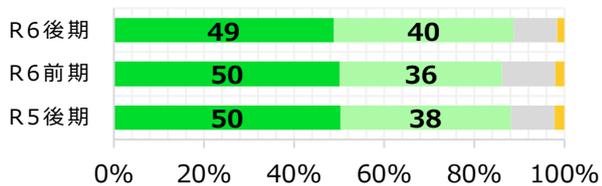
3 忘れ物をしないように、持ち物の用意ができています。



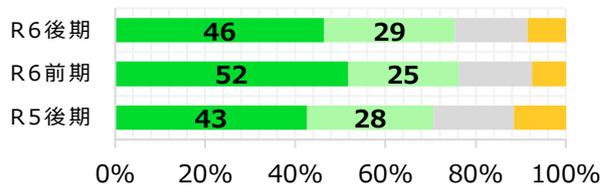
8 難しいと思うことでもねばり強く挑戦している。



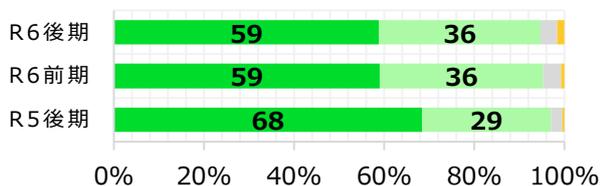
4 身の回りの整理・整頓ができています。



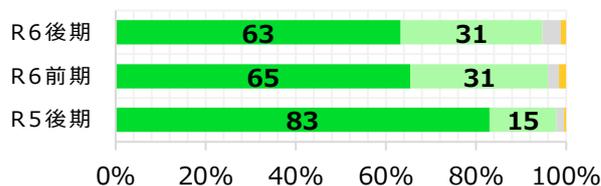
9 進んで読書をしている。



5 先生や友達の話きちんと聞いている。



10 しなければならない仕事をきちんとしている。
(そうじ・給食・日直などの当番)

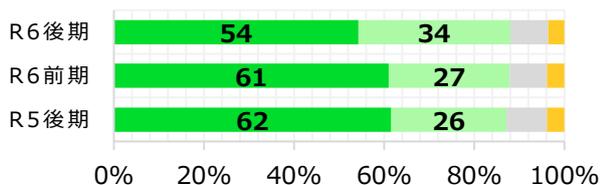


令和6年度 美馬小児童アンケート（後期）

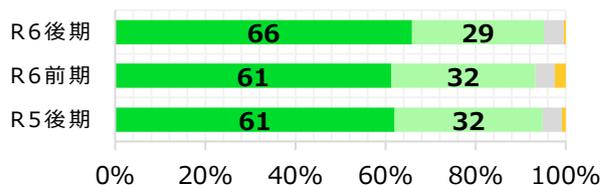
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

調査期間:令和7年2月3日～2月10日 調査対象:全児童265名 回答数:250 (回答率94.3%)

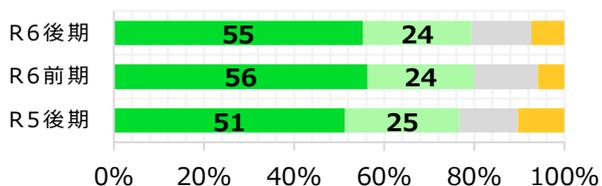
11 早寝、早起き、朝ごはんを実践し、健康な生活をおくっている。



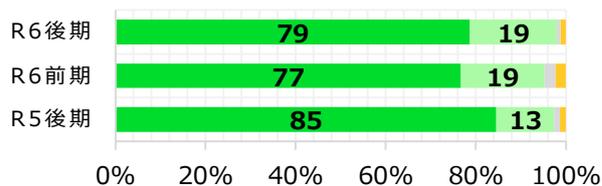
16 学校のきまりや約束事を守って行動している。



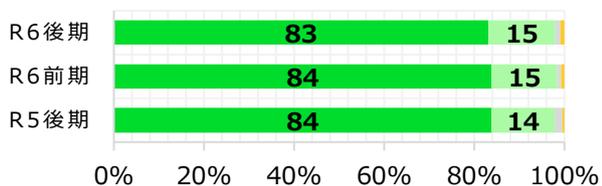
12 休み時間には外で遊ぶなど、自分から進んで運動している。



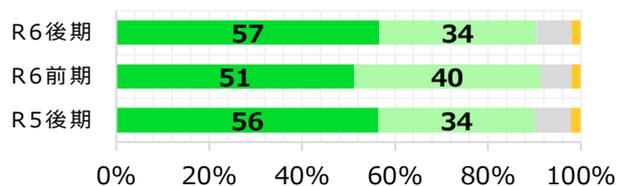
17 友達をいじめたり、仲間はずしをしたりせず、だれとでもなかよくできている。



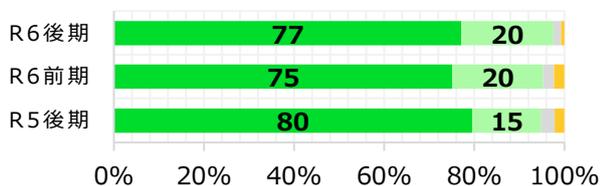
13 事故にあわないように安全に気をつけて登下校したり生活したりしている。



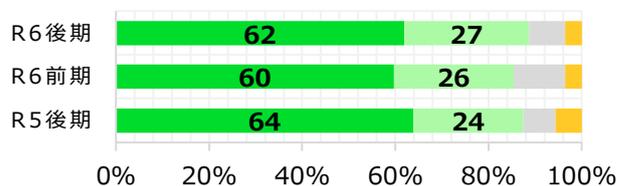
18 友達のまちがった考えや行動に対して、はっきりと自分の思いを伝えられている。



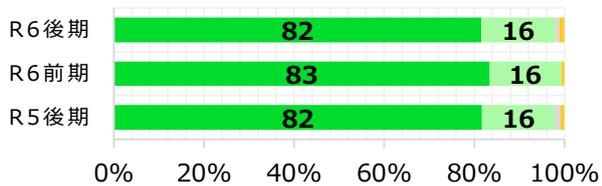
14 宿題をきちんとしている。



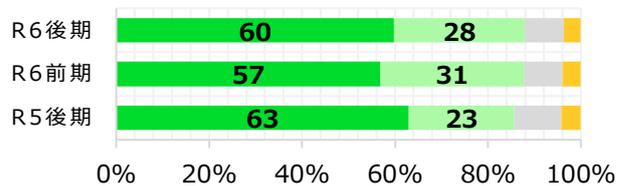
19 困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人に相談できる。



15 地震や火事、不審な人があらわれたときなど、どうしたらよいかよくわかっている。



20 自分にはよいところがあると思う。

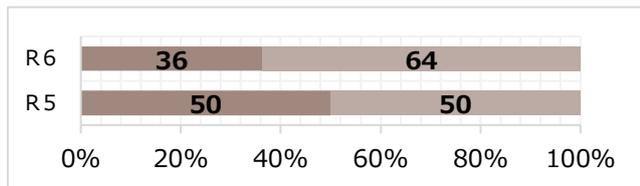


令和6年度 美馬小教職員アンケート(年間)

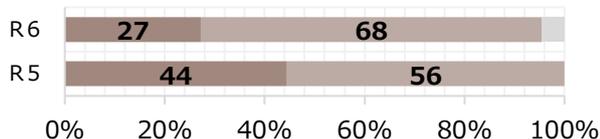
■ そう思う □ だいたいそう思う □ あまり思わない □ そう思わない

調査期間:令和7年2月3日~2月7日 調査対象:教職員26名 回答数:22(回答率84.6%)

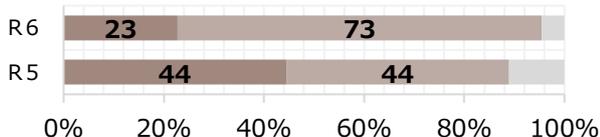
1-1 「心豊かで、仲よく助け合う子」の具現化が図られている。



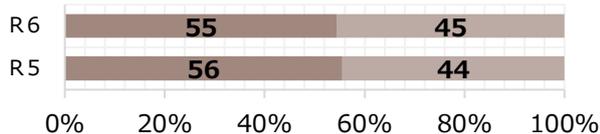
1-2 「よく考え、進んで学ぶ子」の具現化が図られている。



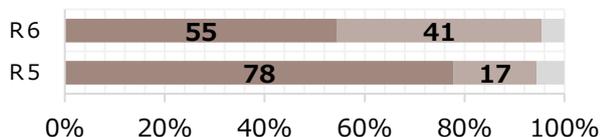
1-3 「粘り強く取り組む、たくましい子」の具現化が図られている。



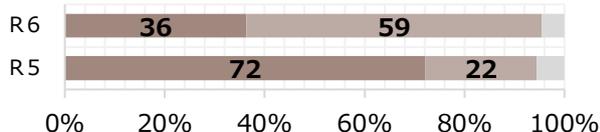
2 教育課程は毎年見直され、児童や地域の実態に応じて編成・改善されている。



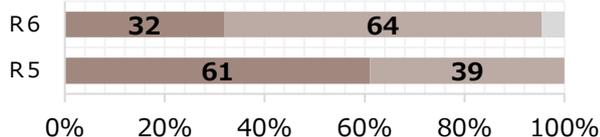
3 各教科の年間授業時数が確保できるように教育活動の工夫や行事の精選などが図られている。



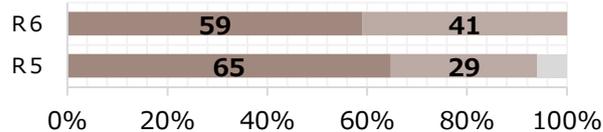
4 主体的・対話的で深い学びの視点・個別最適な学びの視点からの授業改善に向けた研修が進められている。



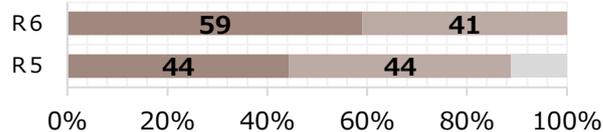
5 すべての子供たちに基礎・基本の力が身につくような全校的な取組が実践できている。(朝の活動や放課後での個人指導など)



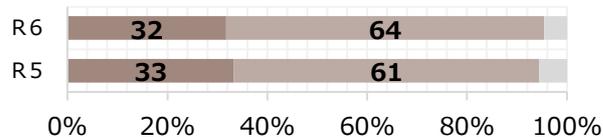
6 地域の教育力を活用し、年間計画にもとづいた学習が実践され、子供たちに身に付けさせた力が定着するような指導が行われている。



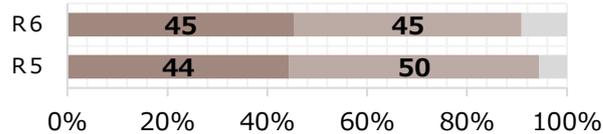
7 読書習慣を身に付ける指導や教科等の学習の中で、積極的・効果的に図書を活用できる環境づくりや活用しようとする適切な指導ができている。



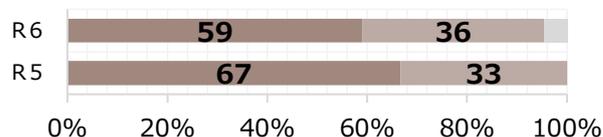
8 ICT機器を活用し、情報活用能力や情報モラルを高めようとする適切な指導ができている。



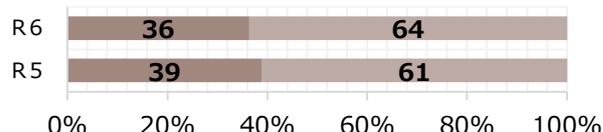
9 特別支援教育に関する研修が進められ、子供一人一人の能力や教育的ニーズに応じた適切な指導ができている。



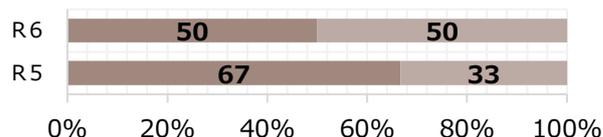
10 生徒指導ではポジティブな行動支援を推進するとともに保護者との連携を密にした適切な指導ができている。



11 子供に基本的な生活習慣が身に付くような取組が十分にできている。



12 子供の人権感覚を養い、いじめや差別を許さない学校づくり・仲間づくりの取組が十分にできている。

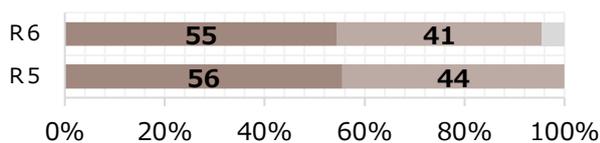


令和6年度 美馬小教職員アンケート(年間)

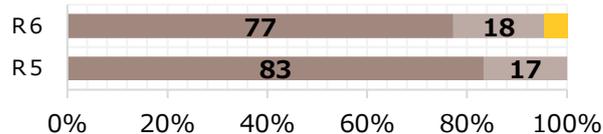
■ そう思う □ だいたいそう思う □ あまり思わない ■ そう思わない

調査期間:令和7年2月3日～2月7日 調査対象:教職員26名 回答数:22(回答率84.6%)

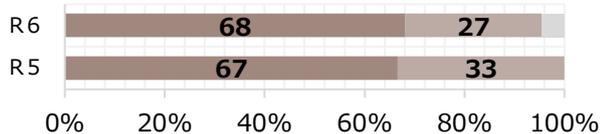
13 全教育活動を通じて道徳性を養い、実践力を育成する道徳教育ができています。



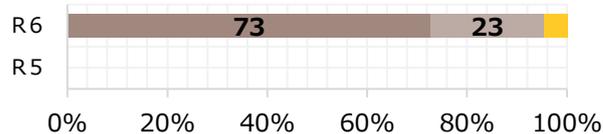
20 教職員集団に、課題や問題をみんなで共有し、協力して解決したり、コンプライアンスや業務改善の推進への雰囲気がある。



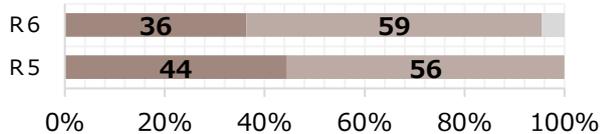
14 特別活動では、子供たちが自主的・主体的に活動できるような時間や場の設定、適切な指導ができています。



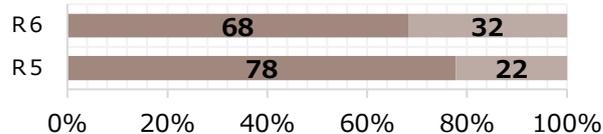
21 教職員間で何でも話し合え、「報告・連絡・相談」しやすい風通しの良い職場環境にある。



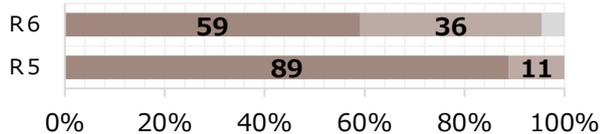
15 コミュニケーション能力の素地や基礎を養うための外国語教育の推進に向けての授業作りや外国語に慣れ親しむ環境づくりができています。



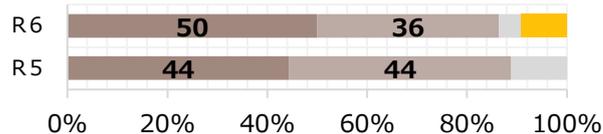
22 学年だよりやホームページなどで学校や子供たちの様子などを伝えるとともに、適切な情報の発信ができています。



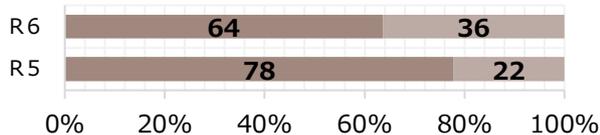
16 施設・設備の安全点検がきちんとされ、子供たちが安心して安全に生活、活動できるような環境が整備できています。



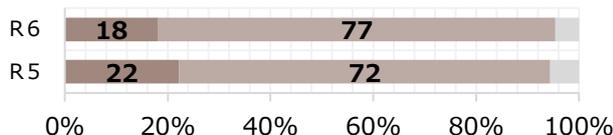
23 学校は働き方改革を進めようと業務改善に取り組んでいる。



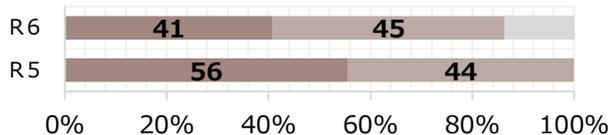
17 避難訓練や交通安全教室不審者対応の指導を定期的に行い、子供たちが災害や事故などから身を守るための指導が十分にできています。



18 自らの健康に関心をもち、生活習慣や食習慣を改善していこうとする実践力を高める指導ができています。



19 職員会議等で全校的な教育活動や学校行事等をよりよくするために、自分なりの考えを出し、十分に話し合うことができています。



令和6年度 美馬小学校教育アンケート 寄せられた意見及びその回答

美馬小学校

※前期のご意見も合わせて掲載しています。同じ趣旨のご意見は主に後期にまとめて掲載しています。
※文意を損なわない範囲で表現を変更したり、省いたりしている場合があります。

感謝・お礼

- いつも子供のために御尽力いただき誠に感謝しております。先生方のおかげで楽しく学校に通わせていただいております。これからもよろしくお願い致します。
- いつも丁寧にご子供たちを見ていただきありがとうございます。
- 毎日嫌がらずに「行ってきまーす」と楽しく通っています。ありがとうございます。
- いつも子どもたちが楽しく学校に通えているのは先生方のおかげです。ありがとうございます。これからもいじめのない学校作りをよろしく願います。
- いつも熱心に子どもたちに関わってくださり感謝しかありません。安心して1年過ごすことができましたのも先生方のおかげです。
- 6年間お世話になりました。残り少ない学校生活を楽しんで、友達との思い出をたくさん作ってもらいたいです。

■ 回答

日々の教職員の取組に対し、温かいお言葉をいただき誠にありがとうございます。これに甘えることなく、保護者の皆様のご期待に応え信頼される学校づくりに一層努めてまいります。

指導に関すること

- 一人一人の勉強をしっかりみて欲しい。
- 子供には家でしてはいけないことや基本的なルールマナー等しっかり教えています。人様に迷惑かけることがあれば厳しく指導して罰を与えています。学校でも人としてしてはいけないことをした場合は遠慮なく保護者に報告して厳しく指導をして頂けると助かります。
- 担任の指導方法に関して児童が納得する様な説明がなされていないと感じる事が多い。
- 小学生にもなると言う事を聞かせるのが大変なのは重々わかるが、先生方の子供と接する時の言葉使いが汚いのが気になる。授業中もとても早口で、参観日に参加しても大人でもわかりにくい。先生同士で一度聞きあってほしい。

- 職員室に入る際に子供に「～入ってもよろしいでしょうか？」と言わせているが、そこまでへりくだる必要があるのか？そして、そこまで言わせるなら必ず返事をしてあげてほしい。何回かその場面を見たが、先生が部屋にいるにもかかわらず返事がないのを見て、なんのために言わせているのか疑問だった。

■ 回答

【教職員の指導姿勢について】

職員の言葉づかいに対するご指摘をいただきました。児童は自身の鏡であり、良くも悪くも児童に大きな影響を与えることを自覚し、範となる言動を心がけることは教職員として最低限の資質と考えます。今回のご指摘は職員全体の問題と捉え、人権尊重の基本に立ち返り、肯定的な言葉で児童の成長を促すポジティブ行動支援の浸透をより一層進めること、また管理職の教室巡視や、教職員間で授業を相互評価するなどの機会を一層増やすことで、指導の改善を図ってまいります。

担任の指導の意図が児童に十分伝わっていないことが多々あるとのご意見をいただきました。児童が納得していない事実があれば、十分な指導でなかったと言わざるを得ません。大変申し訳ありません。一人一人の児童の思いを把握しながら、指導の意図が十分伝わるように努めてまいります。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でのお子様の様子から、お気づきの点がありましたらその都度お知らせいただきますようお願いいたします。

今後も児童の学習、生活両面での課題の把握に努め、一人一人に寄り添った指導を行うことで、「しっかり子供をみてくれた」という評価が多くの方からいただけるよう、職員全体で取り組んでまいります。

【職員室への入室時の対応について】

児童の挨拶に対し職員の応答ができていない場面があったとのこと、不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。職員室に在室していることの多い教頭や事務室長をはじめ、職員の多くは児童の入室に対し丁寧な対応ができていますと考えております

が、職員全体で再度確認し、適切な対応ができるよう徹底を図ります。

職員室の出入口には、基本的な言い方が定着するよう、主に低学年向けに定型文を掲示しています。そこには「入ってもよろしいか」と例示していますが、中学年から高学年になると、「入ってもいいですか。」という表現をする児童が多くなっています。

ご指摘のとおり、「よろしい」という改まった表現と丁寧語である「です」が重なると、児童が使うには少しへりくだりすぎる印象がありますので、定型文を自然な表現に変更いたします。

ご意見いただいたことで、見過ごしてきたことを見直す機会となりました。ありがとうございました。

家庭との連携に関すること

- 子供と触れ合う機会をたくさんただけてありがたいです。調理実習についても、子供の思い出に残る大切な体験だと思えます。学校側の思いがなければ、実習をさせてもらえないと思うので、大変感謝しております。
- 地域学習にお手伝いとして保護者が関われる取り組みは、保護者自身も地域のことや子供たちの普段の学習の様子を知ることができる良い取り組みであると思えます。
- 今後も参観日など、各学年で行う行事は学年別で、時間を分けるようにして下さい。
- 参観日が少ない。
- 仕事の都合でどうしても個人懇談などで学校へ出向けない時は電話でお話等でも出来ればかなり助かるなと思えます。必ず学校まで行かなければならないとなると片親家庭にとってかなりの負担となる事が多々あります。
- 宿題や子供の家庭学習については、自主性がない我が子にとっては、自由となると、宿題がない、と勝手解釈をするので、長期休みの宿題のワークについては、やはり、購入してほしいです。する、しないは、家庭の判断ですが、その学年に習得しておく課題を把握したいので、よろしく願います。

■ 回答

【学習活動への協力について】

本年度も、普段の児童の様子をご覧いただく機会とすることをねらいに、「お助け」と称し、児童の見守りや実習補助など、学習活動に協力をお願いしてまいりました。

参観日は多くの保護者の方に見られるという特殊な状況であり、普段と違った児童の様子をご覧いただくことになりがちです。学校での児童のありのままの様子をご覧いただき、家庭と学校が歩調を一つにする手段として、来年度も各学年において「お助け」依頼を増やしていきたいと考えています。ご都合がございましたら是非ご参加いただければ幸いです。

【個人懇談の持ち方について】

個人懇談は、夏休み前は全家庭、冬休み前には希望する家庭を対象に実施しています。電話では意図が十分伝わらない場合もありますので、対面での懇談にご協力をお願いしています。懇談期間中どうしても来校が難しい場合は、学校にご相談ください。

【家庭学習について】

これまでは長期休業中、学校で市販のワークブックを一律に購入し、宿題としてしました。学年の学習内容に準拠した標準的な難易度のワークは、ご指摘のとおり家庭でお子様の習熟状況を把握するのに役立つものと考えます。反面、一部の児童にとっては易し過ぎたり、逆に難し過ぎたりして、学習意欲の向上につながりにくいという問題もありました。このことから、この春休みも冬休みと同様、1、2年生以外は一律にワークを購入しないことといたしました。その代わりに、より自主的な学習を促すものとして、冬休みに実施した「やってみよう！自分のための学習」、略して「ため学」をこの春休みも引き続き実施いたします。宿題はなくても取り組むべき課題はあるはず、という意識をもって児童が春休みを迎えられるようにしたいと考えています。「ため学」計画シートを家庭に持ち帰りますので、ご家庭でもお子様の学習計画にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

P T A 活動に関すること

- P T A とか廃止にすべきでは？
- P T A の廃止を検討してほしい
- 保護者の役員・役割などを決める際、参加した人に半ば強制的に押し付けているように見受けられます。押し付けを恐れて会議に背を向ける保護者も多く、目下の人員確保のために保護者離れをさせているのでは本末転倒だと思います。

- P T A活動の簡素化もしくは何のために P T A活動を行っているかを伝えられるようにしたいです。

■ 回答

保護者対象のアンケートによると、学校行事や P T A活動には積極的に参加していると回答した方は、「だいたいそう思う」を含めると 8割近くになり、ほとんどの方が前向きに捉えていただいているものと考えています。一方、昨今 P T A廃止の事例が報道されることも多くなり、ここにいただいたご意見のように、P T Aの存在意義に疑念を抱いている方がおられることを、学校としても重く受け止めています。

本校 P T Aの規約にもあるとおり、P T Aの目的は、会員相互の理解と協力により、教育の振興と児童の健全な育成を図ることにあります。現在、令和 7年度の新しい組織づくりを進めているところです。ここでいただいたご意見を共有し、児童のより良い成長のため、また参加することで親としても成長できたと多くの方に感じていただけるような組織にするためにはどうしたらいいか、議論していきたいと考えています。

愛校作業に関すること

- 愛校作業についてですが、年々、参加される方が減っているように感じます。子どもたちがお世話になっている学校を年に一度だけでも保護者が参加して掃除するという機会を、義務にすることは難しいですが、もう少し、積極的に皆さんが参加して下さるようになればと良いのにな、と思います。人数が少なすぎて申し訳ないです。具体的には、
 - ・ 夏休みは暑すぎるので、もう少し涼しい時期（10月くらい）に実施してはどうか。
 - ・ 6年生と保護者が一緒に参加するなど。 ご検討下さい。

■ 回答

愛校作業は、普段職員や児童では手を入れることが難しい箇所の清掃等、環境整備をお願いしており、保護者の皆様のご厚意に支えられている活動です。このように前向きなご意見をいただき、感謝の念に堪えません。ご提案にもありますとおり、児童とともに作業する場としたり、実施時期を工夫したりするなど、保護者の方が気軽に

参加できるよう、P T A役員の皆様とご相談しながら計画を立案してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

日課に関すること

- 給食の時間が短いのではないかと。給食までに時間がおした際に、給食の時間を減らしたりはしないしてほしい。無理をさせないのはいいが、食べたくても食べられず、食べ物を粗末にしているようで、給食の時間の見直しをお願いしたい。

■ 回答

本校では、4校時終了から昼休み開始までの45分間で、給食の準備から片付けまでを行う時程としています。（低学年は、早めに4校時を切り上げ、給食準備を始めています。）各学年とも給食を食べる時間は20分程度確保しており、この時程を遵守することで、給食が食べたい児童が時間がないため十分食べられないという事態が起こらないよう努めてまいります。

制服に関すること

- 制服登校は大事な事かもしれませんが、不潔ではないでしょうか？週末に洗濯できても、平日は難しいです。洗い替え用に購入するのも高いので中々できません。冬用の制服ともなると尚更です。希望者は体操服登校を認めてほしいです。感染対策としても有効だと思います。
- 制服登校をやめていただきたい。体操服と、冬季はブレザーを羽織るだけでいいと思う。

■ 回答

制服登校にご協力いただき、誠にありがとうございます。本校では基本的に登下校時は制服着用、活動時には体操服に着替えるようにしています。また、入学式や始業式、終業式等の儀式的行事、音楽会など校外活動、修学旅行などの参加の際に、制服を着用することをお願いしています。

市内では登下校時に制服の着用を必要としない小学校もあるようですが、「制服を着用する機会が少ない」という保護者の声も一部あると聞いています。

制服着用の機会を通じて、児童の社会性の伸長や望ましい生活習慣の確立につなが

るよう配慮してまいりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

どうしても制服での登校が難しい場合は、遠慮なく担任にご相談ください。

登下校・送迎に関すること

- 福祉センター跡地で石を投げたりして遊んでいる生徒がいるので危ないです。見かけたら注意していますが、あまり効果がないので学校で指導していただきたいです。
- 徒歩の児童が縁石の上を歩くなど車が通行しているのにもかかわらずしている児童がいて危ないので、帰りも誰かが立って見守るなど指導をしっかりしてほしい。
- 学校への送迎に関して、ルールを守れない保護者が多すぎます。何度も文書等で注意喚起してくれているにも関わらず、祖父母のお迎えや、急いでいる等事情があるかもわかりませんが、一定の時間見守るなど、対策していただきたいです。危ないと思います。福祉センターにしても通り抜けで暴走する近隣の方もいらっしゃるの、いつもヒヤヒヤします。
- 悪天候時の社会福祉センターのお迎えは、子供の待機場所をきちんと決めて欲しいです。
- 駐車場として利用する、旧福祉センター跡地のことなのですが、雨が降ると、水たまりが広範囲で出来てしまいます。どうにか出来ませんか？
- 通学バスを利用しているのですが、バスの運転手さんと緊急時に連絡が取れるようにしていただけるとありがたいです。

■ 回答

【下校時の安全について】

交通ルール、保護者のお迎えを待つ間の安全については、これまでも随時学級担任が児童に指導してまいりましたが、定着が十分でなくご心配をおかけしておりますことを申し訳なく存じます。交通安全意識の徹底については、ご家庭にもご協力をいただきながら、繰り返し指導したいと考えています。

また、効果的な指導のためにも、危険な行動を見かけた場合には、その都度学校に直接ご連絡いただければ幸いです。

【福祉センター跡地の整備について】

福祉センター跡地の現状について保護者

の方からご意見があったことは市教育委員会に伝えてあります。ただし、以前にもお知らせしたとおり、福祉センター跡地は市が管理する区域であり、行事等の際には特別に許可を得て駐車場として借用しています。駐車場利用を目的として特段の整備を要望するのは難しいことをご理解ください。

【悪天候時の児童待機場所について】

9月26日に実施いたしました災害時引渡し訓練では、児童の引渡しを校舎内で行いました。児童を引渡す場合には、教室あるいは体育館で児童を待機させることを原則と考えています。一方、2月5日の降雪による下校時刻の変更の際には、お迎えはご家庭の判断に委ね、引渡しを行わなかったため、児童の待機場所は通常のとおりとさせていただきます。

今後悪天候等により保護者の皆様に対応をお願いする場合には、可能な限り早く、分かりやすい連絡を行うなど混乱のないように努めてまいります。なお、引渡しが必要と判断した際の待機場所は各教室あるいは体育館を想定していますが、状況により別の方法が適切と判断した場合には変更することもありますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

【スクールバス運転手への連絡について】

本校のスクールバスは、登校時については全員が揃っていなくても定刻に出発すること、運転手が急遽交替する場合があることなどの理由から、運転手個人の携帯番号は保護者の皆様にお知らせしておりません。どうしても運転手に対し連絡が必要な場合は、学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

その他

- 放課後子ども教室が以前のように週2回利用できると助かります。

■ 回答

放課後子ども教室に問い合わせたところ、県や市からの補助金が限られており、週2回利用に対応するための指導員の増員が予算上困難であること、また指導場所の確保が難しいことなどから、週1回の利用としての回答がありました。